

| | | | |
|----------------|---|------|----------------|
| 授業科目名 | エリアマネジメント論 | 担当教員 | 佐藤 善信 高橋 伸桂 |
| 必修の区分 | 選択 | | |
| 単位数 | 2単位 | | |
| 授業の方法 | 講義 | | |
| 開講年次 | 2年第1クォーター | | |
| 講義内容 | <p>一般に、エリアマネジメント（AM）は、「地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み」と定義されている。AM活動は、地域の活性化や居住環境の向上などを目的として展開されている。AMの課題としては、活動のための財源の確保、組織化の課題、そして活動を維持・拡大するための専門の人材の確保の3つが挙げられている。本講義では、主としてAMの様々な事例をベースにして、受講生が地域の特性に応じた最適なAM活動を理解し、組織の一員としての確に活動できるようにする。</p> | | |
| 到達目標 | <p>講義内容で説明したAMの3つの課題の理論的内容と各地で行われている様々な事例を取り上げ、3つの課題の本質的な性格を理論的に把握し、それをベースにしてAMの具体的プロセスを理解し、組織の一員として3つの課題を解決するための方策を立案できることを到達目標としている。取り上げる事例は、佐藤が経営アドバイザーとして顧問を務めている（株）東邦レオ（屋上緑化事業で有名。最近AM事業にもフォーカスしている）の各地域での試みや高橋が具体的にかかわった事例を中心に取り上げる。</p> | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 東邦レオがかかわっているAMの事例 （宗像市の日の里団地のリノベーションのケースなど）をベースにして、AMの3つの課題を具体的に考察する①（佐藤） 2 同上②（佐藤） 3 同上③（佐藤） 4 フリーマン理論に基づく「利害関係者志向の経営」を学ぶ（佐藤） 5 エドモンドソン理論に基づく「境界を越えたチーム形成」を学ぶ（佐藤） 6 豊岡市竹野町（たけの観光協会）の事例（高橋） 7 熊本県荒尾市ウエルビーイングスマートシティの事例（高橋） 8 養父市ニューツーリズム事業（アドベンチャー&教育）の事例（高橋） 9 豊岡市ヘルス&スポーツツーリズム事業の事例（高橋） 10 豊岡市宵田商店街（カバンストリート）の事例①（佐藤） 11 グループワーク：カバンストリートの事例②（佐藤） 12 VUCA時代のAMについて学ぶ（佐藤） | | |
| 事前・事後学習 | <p>ケースを事前に配布する場合がある。その場合は、ケースの課題に従ってケースを分析してくる。授業中にケースについてのディスカッションをするので、自分の発言用の分析結果のメモを作成すること。授業後には、講義内容を踏まえてケースについての分析レポートを提出すること。</p> | | |
| テキスト | なし | | |
| 参考文献 | 授業中に適宜紹介する | | |
| 成績評価の基準 | ケース分析レポート（40%）、授業中の発言（20%）、期末レポート（40%） | | |
| 履修上の注意 履修要件 | | | |
| 実践的教育 | 該当しない。 | | |
| 備考欄 | | | |